

オーストラリア訪問の際のワンポイント・アドバイス

こちらで行う業務の中で、当地自治体との姉妹都市周年事業や研修事業等で来豪される自治体からの依頼で、当地自治体が行う Study Tour や歓迎会にお邪魔させていただく機会があります。ここでは姉妹都市自治体における歓迎会や当地自治体関連施設の視察に参加した際に感じたことをご紹介します。

○記念品・プレゼントの交換時

歓迎会ではよく両市から記念品やおみやげの交換が行われます。当地自治体関係者は記念品をもらうと、すぐ贈呈者の目の前で包みを開いて、何をもらったのかを出席者のみなさんに披露されていました。

反面、当地自治体からプレゼントをもらった日本の方は、もらったプレゼントを開けることなく自分のバッグにしまわれているのを目にしました。日本の感覚では、目の前ですぐを開けるのは逆に失礼に当たると思われたのでしょうか。そこで日本の方には「こういう交流の場でのプレゼントですので、ぜひ開けてみなさんに披露してください。」と申し上げたところ、参加者それぞれのテーブルでは、そのプレゼントにまつわる話で盛り上がり、市民同士の交流がより活発になりました。

当地の人々は概して気軽でフランクです。朝晩の通勤電車では隣に座った赤の他人同士が楽しそうにおしゃべりをしているのは日常茶飯事です。姉妹都市交流や研修事業などで当地を訪問し、地方自治関係者と交流する機会がありましたら、是非オープンな感覚で接してください。より一層素晴らしい交流になりますよ。

※ただし、日本側からの高価な記念品と同等の記念品を用意できず、困惑したという受入側自治体の声もあり、どのような内容と価格の記念品やプレゼントを用意するのかを、担当者間で事前に調整しておくことをお勧めします。

○自治体等を訪問した際の質問や事前の調査について

当地の自治体や公的施設を調査団の方々と訪問した際、施設や事業についての説明が終わると、質問を受けつけます。この時、訪問者から質問が少ないと、訪問者はこちらの事業には興味がない、あるいは説明に不満足なのだ、と当地の説明者は感じるそうです。

これまで当事務所がアポイントメントの取り付けをお手伝いした訪問先の中でも、どの国とははっきり分かりませんが、過去にそうした外国からの訪問団があったため、日本からの訪問団を受け入れてもらえなくなった機関もあります。

事前に訪問先の概要や事業についてお調べいただき、ある程度質問を準備して訪問されると、説明を受けた際の理解もより一層深まり有意義な訪問になると思われます。また帰国後には、訪問先に礼状等を送ったり、訪問されたご感想や今後の行政にどう役立てられるのか等を訪問先にフィードバックすることは、訪問先にとっても非常に有益であるため、行っていただきたく思います。

当事務所では、訪問先が行う事業や施設等についての下調べ・調査をお手伝いさせていただきますので、ぜひご一報いただきますようお願いいたします。